

コーポレート・ガバナンス改革の新しい流れ と社外取締役の役割

—社外取締役ガイドラインの活用—

日本企業のコーポレート・ガバナンス改革を巡る取組は、「コーポレートガバナンス・コード」公表等を受けて加速しており、独立社外取締役を選任する上場会社（市場第一部）の比率は97.1%にのびます。

上場会社の関心は、社外取締役の選任のみならず、後継者育成（サクセッション・プラン）や取締役会の多様性などの人事、株式報酬を含めた業績連動報酬、取締役会の実効性評価といった“次の段階”に進んでいます。他方、「スチュワードシップ・コード」や「フィデュシャリー・デューティー」に基づき、判断基準を明確にした責任のある議決権行使を行う機関投資家が増加する状況にあります。

このように、上場会社や機関投資家を取り巻く環境は変化し続けており、コーポレート・ガバナンスにおいて社外取締役に求められる役割も、さらに重みを増しています。

そこで、当連合会の「社外取締役ガイドライン」を基に、企業関係者、投資家といった様々な立場の方々とパネルディスカッションを行い、社外取締役とその役割について考えます。

【プログラム】

- ◇ 日時 2017年4月19日（水）
午後3時～午後6時
※開場は午後2時30分から
- ◇ 会場 弁護士会館2階講堂「クレオ」
（千代田区霞が関1-1-3）
- ◇ 参加費 無料

◆ パネルディスカッション

「コーポレート・ガバナンス改革の
新しい流れと社外取締役の役割」

【パネリスト】

倉地 正 氏

（英国機関投資家Hermesシニアアドバイザー／
元株式会社東京三菱銀行専務取締役／
元兼松株式会社代表取締役社長・会長／
元エーザイ株式会社社外取締役・取締役会議長）

藪 ゆき子 氏

（株式会社ダスキン社外取締役／
宝ホールディングス株式会社社外取締役／
大和ハウス工業株式会社社外取締役）

齊藤 太 氏

（三井住友アセットマネジメント株式会社
企業調査グループスチュワードシップ推進室長）

山口 利昭 氏

（弁護士／上場会社社外取締役）

[コーディネーター]

中西 和幸 氏

（弁護士／元上場会社社外取締役）

【主催】日本弁護士連合会 【共催】東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会 【後援】日本取引所グループ 東京証券取引所

【お問合せ先】日本弁護士連合会 法制部法制第一課 TEL:03-3580-9886

お申込は
こちらから

WEB申込みフォーム

<https://qooker.jp/Q/auto/ja/cg/0419od/>

要事前申込み
（定員500名、先着順）

